

1. 共通仕様

(1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(平成25年度版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)による。図面、本特記仕様書及び改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成25年版)」(以下「標準仕様書」という。)による。

(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記仕様書を通する。なお、電気設備工事の特記仕様書は(/)図、及び機械設備工事の特記仕様書は(/)図による。

(3) 本特記仕様書の表記

1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

2) 特記事項は、①印の付いたものを適用する。

①印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

①印と②印の付いた場合は、共に適用する。

3) 特記事項に記載の[]内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

4) 特記事項に記載の()内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

5) □印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(平成12年法律第100号)に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(平成25年2月閣議決定)」に定める判断の基準を満たす物品を示す。

6) 東海地震に係る地震防災対策強化地域内における工事にあつては「大規模地震対策特別措置法」による注意情報が発せられた場合、受注者は人身の保護及び安全避難に必要な補強、落下防止等の保全措置を講ずるとともに、工事中断の措置をとるとする。又この事実が発生した場合は、契約書第26条(臨機の処置)によって処理されたものとする。

章項目

特記事項

①一般共通事項

①適用基準

1) 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。

・建築物解体工事共通仕様書(平成24年版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部

2) 本設計図書における「標準詳細図」とは、次の基準を指す。

建築工事標準詳細図(平成22年版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。

・風圧力

風速(V₀= m/s)

地表面粗度区分()

・積雪荷重

建設省告示第145号における区域別表()

(1.4.1) [1.4.1]

②現場への配慮

1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次のi)からiv)を満たすものとする。

i) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、経緯材、断熱材、塗料、仕上塗料は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。

ii) 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。

iii) 接着剤は、可塑性(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性を除く)が添加されていない材料を使用する。

iv) i)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないが、発散が極めて少ない材料を使用したものとす。

2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次のi)又はii)に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次のiii)又はiv)に該当する材料を指す。

i) 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料

ii) 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

iii) 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料

iv) 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

(1.4.2) [1.4.2]

④材料の品質等

1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。

2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承認を受ける。

3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

4) 本工事に使用する材料のうち、5)に指定する材料の製造業者等は、次のi)からvi)の事項を満たすものとし、この証明となる資料(外部機関が発行する証明書の写し)を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。

i) 品質及び性能に関する試験データを整備していること。

ii) 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。

iii) 安定的な供給が可能であること。

iv) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。

v) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。

vi) 販売、保守等の営業体制を整えていること。

5) 製造業者等に関する資料等の提出を求める材料

・鉄骨柱下無収縮モルタル ・無収縮グラウト材 ・乾式保護材(防水立上部)

・既成調合モルタル(引込工事用) ・既成調合目地材 ・ルーフドレイン ・吸水調整材(防水用) ・錠前類 ・クローザー類 ・自動扉機構 ・自閉式上吊り引戸機構(手動開き式) ・重量シャッター

・軽量シャッター ・オーバーヘッドドア ・防水剤 ・現場発泡断熱材 ・フリーアクセスフロア ・可動間仕切り ・移動間仕切り(スライディングドア)

・トイレブース ・煙突用成形ライニング材 ・天井点検口 ・床点検口 ・グレーチング ・屋上緑化システム ・トップライト ・エポキシ樹脂 ・ポリマーセメントモルタル ・鉄製製ふた

6) 製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、三重県「環境物品等の調達方針」に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」に準拠した証明書を、監督職員に提出すること。

7) 本工事に使用する木材は、品質が求められる水準以上であれば、「志摩市公共建築物等木材利用方針」に基づく木材を最優先し、つづき「三重の木」利用促進協議会が認証する「三重の木」やあかぬ材認証機構が認証する「あかぬ材」の優先利用に努めること。

章項目

特記事項

①一般共通事項

⑤施工調査

※施工計画調査

本工事該部位及び関連部位について既存施設(埋設配管を含む)について事前調査、情報収集を行う。

報告書 監督職員に2部提出

立面図、平面図等に記載、必要に応じ写真を添付

調査業者 外壁及び防水改修施工数量調査は、使用予定材料メーカーの指定する施工業者とする。

・埋設配管の試験

範囲、復旧方法 ※図示

・第一次判定(シーリング材種の判定)

日本シーリング材工業会に次のシーリング材のサンプルを送付し、材種の判定を行う。判定結果については、監督職員に速やかに報告する。

サンプリング採取箇所()採取箇所数()

・第二次判定(PCB含有量の分析)

専門分析機関に次のシーリング材のサンプルを送付し、PCB含有量の分析を行う。なお、分析サンプルの四周は除去し、採取部の内部(大気さらされてない部分)を取り出して分析する。判定結果については、監督職員に速やかに報告する。

サンプリング採取箇所()採取箇所数()

i) 施工完了後、引渡前に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を判定し、判定結果を監督職員に報告する。

ii) 判定対象室及び測定箇所数は次の通り。

測定対象室()測定箇所数()

測定対象室()測定箇所数()

測定対象室()測定箇所数()

⑦化学物質の濃度判定

②仮設工事

①足場その他

・「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置にあたっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

・内部足場 種別(※きやった、足場板等、)

○外部足場 種別(※A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種) [表2.2.1]

・防護シートを設置

・養生シート ・わた状養生シート ・金網 ・防音シート ・防音バ ー

材料、撤去材等の運搬方法

種別(・A種 ○B種 ・C種 ・D種 ・E種) [表2.2.2]

C種: 利用可能なエレベーター()

D種: 利用可能な階段()

②既存部分の養生

1) 養生の方法等

○既存部分 養生の方法(※ビニルシート等)

・既存家具等 養生の方法(※ビニルシート等)

・既存ブラインド、カーテン等 養生方法(・ビニルシート等)

・備品、机、ロッカー等の移動(・図示)

2) 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

③仮設間仕切り

1) 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ・図示

2) 仮設間仕切りの種別と材質等 [2.3.2] [表2.3.1]

種 別	下 地	仕 上 げ(厚さmm)	塗 装	充填剤
・A種	・木	・せっこうボード(9.5mm)	・無し	※有り
・B種	・軽量鉄骨	・合板(9.0mm)	・無し	・片面
※C種	単管	防火シート		
充填剤: ゲ57k-432 k		(厚: 50mm以上)		

3) 仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等

材 質	仕 上 げ	塗 装
※木製	※合板張り程度	・無し
・	・	・片面

章項目

特記事項

③防水改修工事

1 施工数量調査

調査範囲 ・図示 ・防水改修範囲

調査方法 ・図示

既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・図示

調査報告書 提出部数: ・2部

③ 2 降雨等に対する養生方法(とい共)

③ 3 既存防水の処理

既存保護層の撤去 ・行う(範囲 ・図示) ・行わない

既存防水層の撤去 ・行う(範囲 ・図示) ・行わない

露出防水層表面の仕上げ塗装除去

・行う(・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X) ・行わない

③ 4 既存防水層の下地補修

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ・図示

POS工法及びVPOS工法(機械式固定方法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の補修及び処置

※改修標準仕様書3.2.6(d)(3) (vii) ①~③による

③ 5 アスファルト防水

屋根保護防水

防水層の種類

工法	種別	施工箇所	断熱材 [G]	絶縁用シート	立上り部の保護
・P2A	・A-1 ※A-2 ・A-3	図示	断熱材	※断熱材の厚さ0.15mm以上	・乾式保護材 ・コンクリート押え
・P1B	・B-1 ※B-2 ・B-3				
・P2A1	・A1-1 ※A1-2 ・A1-3				
・P1B1 ・T1B1	・B1-1 ※B1-2 ・B1-3		(材質) ※JIS A 9511によるA種抽出法(引込)によるA種抽出法		

図面訂正年月日	特記事項	<p>林州啓建築設計事務所</p> <p>〒517-0603 三重県志摩市大王町波切3290-5 TEL(0599)72-0039 FAX(0599)72-2733</p> <p>一級建築士 大臣登録第211001号 林 州 啓</p>	作図年月日	工事名称	ゆうゆう苑変電設備・高圧幹線設備改修工事	図面番号	
			<p>H 2 9 . 0 9</p> <p>縮尺</p>	図面名称	特記仕様書(1)	E-3	